

新型コロナウイルスの感染対策として、少人数・申し込み制に変更して開催しました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。観察記録のレポートを作成いたしましたので、ご覧ください。

次回7月のてがたんは7月10日(土)で、テーマは「これを食べたのは誰? ~食べあとから生き物を探そう~」です。ぜひご参加ください。7月1日の8時30分から電話での申し込みを開始いたします。市民スタッフのみなさま、次回の下見は7月4日(日)です。

## 6月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→高野山香取神社→水神山古墳→高野山桃山公園
- 観察日時と天気：2021年6月12日(土) 10:00~11:00 晴れ
- 参加人数：8名(大人8名)
- 市民スタッフ：1名(小泉伸夫)
- 鳥博職員：2名(望月みずき、斉藤安行)

## 観察した生き物の記録

「\*」は、下見だけで見られたもの。

### 【鳥類】

キジ科：キジノカモ科：カルガモノハト科：キジバトノウ科：カワウノサギ科：アオサギノキツツキ科：コゲラノカラス科：オナガ、ハシブトガラス、ハシボソガラスノシジュウカラ科：ヤマガラ、シジュウカラノツバメ科：ツバメノヒヨドリ科：ヒヨドリノウグイス科：ウグイス(声)ノエナガ科：エナガ(声)ノメジロ科：メジロノムクドリ科：ムクドリノスズメ科：スズメノセキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイノホオジロ科：ホオジロ 家禽や外来種：コジュケイ(キジ科)、ドバト(ハト科)

【両生爬虫類】トウキョウダルマガエル\*、アマガエル\*、ウシガエル

### 【昆虫】

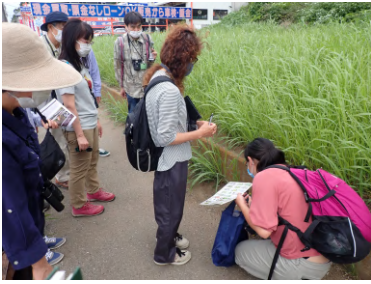
トンボ目：シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、コシアキトンボノゴキブリ目：モリチャバネゴキブリノバッタ目：ウスイロササキリ、マダラスズ、キンヒバリ、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、オンブバッタノナナフシ目：ナナフシノカメムシ目：ツツジグンバイ、ヒメホシカメムシ\*ノチョウ目：ルリシジミ、ムラサキシジミ、アカボシゴマダラ、アカタテハハムシ\*、アオスジアゲハ、キアゲハ、モンシロチョウ、ヒメジャノメ\*、ウメエダシャク、オビガ、カノコガ、フクラスズメ幼虫\*ノコウチュウ目：オオヒラタシデムシ\*、ナミテントウ、ラミーカミキリ、コガタリハムシノハチ目：セイヨウミツバチノハエ目：マダラアシナガバエ

【クモ】コガネグモ、ギンメッキゴミグモ、ゴミグモ、サツマノミダマシ、イオウイロハシリグモ、クサグモ

### 【花】

草の花 ナデシコ科：ツメクサ、ノミノフスマ、ウシハコベノマメ科：コメツブツメクサ、ムラサキツメクサ、シロツメクサノカタバミ科：カタバミ、アカカタバミ、ムラサキカタバミ、イモカタバミ、オッタチカタバミノフウロソウ科：アメリカフウロノアカバナ科：コマツヨイグサ、ユウゲショウノサクラソウ科：コナスビノゴマノハグサ科：ムラサキサギゴケ、トキワハゼ、タチイヌノフグリ、オオイヌノフグリノオオバコ科：オオバコ、ヘラオオバコ、ツボミオオバコノスイカズラ科：スイカズラノキク科：コセンダングサ、アメリカオニアザミ、ハルジオン、ハハコグサ、ウラジロチチコグサ、ブタナ、オオジシバリ、ヤブタバコ、ノゲシ、ヒメジョオン、セイヨウタンポポノアヤメ科：ニワゼキショウ、オオニワゼキショウノイグサ科：クサイノツユクサ科：トキワツユクサ、ツユクサノイネ科：アオカモジグサ、イヌムギ、スズメノカタビラ  
木の花 メギ科：ナンテンノオトギリソウ科：キンシバイノトウダイグサ科：アカメガシワノミズキ科：ヤマボウシノモクセイ科：ネズミモチノクマツヅラ科：コムラサキノゴマノハグサ科：キリ

## 6月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「戦国武将の家紋を探そう」でした。香取神社から桃山公園にかけての台地の上を歩きながら、家紋に出てくる生き物たちを観察しました。家紋は抽象化された紋様になっていますが、生き物の特徴が取り入れられており昔の人たちが身近な自然をよく見ていたことが分かりました。



今月の案内人  
望月みずき



①道端に生えていたカタバミと家紋



②神社入り口の巨木のイチョウの葉



③香取神社で観察したキジバト



④五七桐の神紋が入った賽銭箱



歩いたルートと観察した生き物



⑤肉食性の昆虫のシオヤアブ



⑥日陰によく生えていたドクダミの花



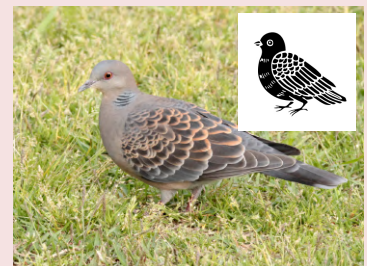
⑦ビワにとまる外来種ラミーカミキリ



⑧キリの花は葉の上に咲く

### 今月の鳥 キジバト (ハト目ハト科)

キジバトは日本に古くから生息しており、鳩紋として家紋にも出てきます。一方、ドバトは海外から日本に持ち込まれ、野外に逃げ出した外来種です。多くの鳥は餌の豊富な春から夏に子育てをしますが、キジバトは「そのう」と呼ばれる食道の一部分でピジョンミルクを分泌し雛に与えることから、一年を通して繁殖をしています。ピジョンミルクはタンパク質など栄養分が豊富で雌雄どちらも出す事ができ、子育ては2羽で協力して行います。雛は初めピジョンミルクのみを与えられますが、徐々に親と同じ食べ物である木の実や草の種の割合が増えていきます。そのうからミルク状のものを分泌し子育てする鳥はハト類、フラミンゴ類、ペンギン類など一部の鳥類で知られています。



キジバトの翼の羽毛には茶色い縁取りがあり、うろこ状の模様に見える。